

- ・調査日：令和2年9月1日（火）～11日（金）
- ・回答数：235社／727社（32.3%）

## 問1. 規模について（役員・パートを除く）

- ①20人以下 66社（28.1%）
- ②21～50人 61社（26.0%）
- ③51～100人 48社（20.4%）
- ④101～300人 37社（15.7%）
- ⑤301人以上 23社（9.8%）

## 問2. 今年7－9月期に比べて、今後（来年1月以降）の仕事量の見込みについて

- ①増加 46社（19.6%）
- ②横ばい 89社（37.9%）
- ③減少 96社（40.8%）
- ※未回答 4社

## 問3. 雇用調整助成金の申請・受給状況について

## 【休業手当】

- |        |            |              |            |
|--------|------------|--------------|------------|
| ①申請済   | 70社（29.9%） | 【参考R2.4－6月期】 | 57社（27.2%） |
| ②受給済   | 78社（33.3%） |              | 7社（3.3%）   |
| ③準備中   | 22社（9.4%）  |              | 84社（40.0%） |
| ④申請しない | 64社（27.4%） |              | 62社（29.5%） |
| ※未回答   | 1社         |              | 6社         |

## 【教育訓練】

- |        |             |              |             |
|--------|-------------|--------------|-------------|
| ①申請済   | 16社（6.9%）   | 【参考R2.4－6月期】 | 8社（5.6%）    |
| ②受給済   | 13社（5.6%）   |              | 0社（0%）      |
| ③準備中   | 28社（12.1%）  |              | 32社（22.4%）  |
| ④申請しない | 175社（75.4%） |              | 103社（72.0%） |
| ※未回答   | 3社          |              | 73社         |

## 問4. 持続化給付金の申請・受給状況について

- |        |             |              |             |
|--------|-------------|--------------|-------------|
| ①申請済   | 27社（11.8%）  | 【参考R2.4－6月期】 | 12社（6.1%）   |
| ②受給済   | 45社（19.7%）  |              | 6社（3.0%）    |
| ③準備中   | 33社（14.4%）  |              | 50社（25.1%）  |
| ④申請しない | 124社（54.1%） |              | 131社（65.8%） |
| ※未回答   | 6社          |              | 17社         |

問5. 現在の国・県等の景気対策（コロナウイルス対策）についての、問題点・改善点等について、ご記入下さい。

**【融資制度について】**

- ・景気が回復するまで継続して欲しい
- ・無利子の融資
- ・中小企業支援のための融資枠が少ないのではないか
- ・希望融資金額より減額される
- ・有利子の借入の借り換えに実質0金利融資使えればいいけど
- ・国の緊急融資の借換制限事項を外して欲しい
- ・対策をきちんと考えて行動している会社と仕方が無いと諦め受けの会社の評価が一緒でいいのか
  
- ・申請書類が面倒
- ・より手厚くスピード感を持って対応して欲しい
- ・拡充のタイミングが遅い
- ・借入しやすく（手続きの緩和）

**【補助金について】**

- ・補助金や給付金は有り難いが、企業としては、仕事量確保出来るような施策が欲しい。つまるところ、大手（完成メーカー）の生産を維持する必要あり。
- ・一律の額で無く、事業規模に合わせて段階的にすべき
- ・業界によっては影響発生に時間差があり延長を要望
  
- ・需要減少の中で補助金もらってでも設備投資をするのか
- ・設備投資に対する大胆な補助金
- ・ものづくり補助金の拡充などの経済対策
- ・エアコンやコンプレッサの修理・修繕等に補助が欲しかった（故障した場合目下の事業継続に必要不可欠な経費だったので）
- ・研究、開発についての補助金を強化して欲しい（人件費含む）
- ・補助金額のUPと申請審査のハードルを下げて頂きたい。
  
- ・簡素な書類、手続きにして頂きたい（数社）
- ・チャレンジ補助金など県の審査が遅い
- ・採択結果の連絡が遅く、対策をうてない。
- ・感染防止対策については納品までに時間がかかるため早く結果を出してほしい。

## 【その他（雇調金・持続化給付金など）】

- ・この厳しい受注環境がしばらく続くと思われ、雇調金の限度額特例処置現時点で12月までですが、早期に延長し将来の不安を少しでも削減して欲しい。
- ・コロナの影響による業績悪化時期が、業種により異なることへの対応
- ・雇調金の15000円増額による100%支給事業者も多くなっているが、それに伴い働いても働かなくても同じ金額がもらえている現実があり、モチベーション上で問題があるかも。上限が上がるということは歓迎されることには違いないけど。
- ・雇調金ばかりではゾンビ企業が生き残るので選択は必要です
- ・雇調金の受給を迅速にして欲しい
  
- ・持続化給付金の金額を上げて、数回行って下さい。
- ・持続化給付金について、売上減少割合の緩和
- ・毎月前年比売上40%減などの場合現行ルールだと持続化給付金の対象とならない。対象の条件が現実とマッチしていないと感じる。
  
- ・申請受付から配給までの時間が掛かり過ぎる。（数社）
- ・申請書類が面倒
- ・入金時期が不透明なため、資金繰りに影響する。
- ・デジタル技術の普及の遅れによる手続きの遅延
- ・手続きの簡素化・一部審査上細かすぎるところあり
- ・申請の難しさ、コールセンター等が繋がらない
- ・国の採択は早かったが、県の対応は遅い（持続化給付金）
- ・税制救済優遇措置を充実してほしい。

問6. 今後、国や県・市町に要望したい景気対策について、ご記入下さい。

**【融資制度について】**

- ・ 中長期の融資制度を確立して頂きたい
- ・ 利子補給期間の延長
- ・ 無利子の融資（数社）
- ・ 特別融資制度の長期延長。
- ・ 状況次第で据え置き期間の延長、利子の見直しをお願いしたい
- ・ 今後事業の継続が厳しくなる企業への救済を積極的に行って頂きたい。
- ・ 返済時期になった頃の状況に若干の不安を感じる
- ・ 対応をきちんと考えて行動している会社と仕方が無いと諦め受けの会社の評価が一緒でいいのか
  
- ・ 分かりやすい広報活動を期待する
- ・ 自治体、銀行ともに申請書類を簡素化してほしい
- ・ 柔軟迅速に融資を受けることができる仕組みづくり
  
- ・ 期限を設定せずにコロナが世界的に終息するまで継続を
- ・ 借りたものは返さなきゃいけないので企業存続のモチベーション維持には寄与しにくい。もっと補助金助成金を簡素化し広範囲に目配りした方が経営者が存続のモチベーションを保つには有効かと思う
- ・ 家賃支援給付金など、大企業を親に持っている、みなし大企業に該当し申請出来ない。大企業でも、資本金額をみて、もう少し細かく区分して、大企業から外れる仕組みがあると良い。

**【補助金について】**

- ・ 休業手当の上限額引き上げ及び長期的な継続
- ・ 雇調金の支給対象期間の長期延長。
- ・ 雇用調整助成金を延長して欲しい。
- ・ コロナ禍での雇調金継続
- ・ 持続化給付金の受給要件の一つである売上50%減はハードルが高すぎる。
  
- ・ 設備投資に関連する補助金の枠・金額の増加・充実
- ・ 設備投資補助金の拡充
- ・ 補助率UPにより設備投資意欲を高めて頂きたい。
- ・ 設備投資に対する大胆な補助金
- ・ 設備投資に対する新規、入替の補助金の拡充をお願いしたい。

- ・ものづくり補助金をもっと拡大し、通り易くして欲しい。
  - ・もの補助の賃金アップ計画縛りが今必要と思えない！企業存続のためのスリム化+生産性向上（設備改変）に伴う投資などを簡単に事後承認でも補助できないものか
  - ・製造業の職場環境改善の為の補助金希望（夏暑く冬寒い。高額の冷暖房器機）人材の高齢化に伴い雇用確保の為にも環境を良くしたい。
  - ・設備資金の為の補助金、申請が難しく採用率も低いと感じている。
  - ・省エネ補助金等の対象期間の延長を要望。
  - ・感染対策費用に対する補助の拡充
  - ・「コロナ時代に適応する設備導入支援事業費補助金」の継続。
- 
- ・人材確保のための補助金を強化してほしい
  - ・中小企業への新規事業や新製品開発等に対して助成をさらに拡大してほしい。
  - ・研究、開発についての補助金を強化して欲しい（人件費含む）
  - ・積極チャレンジに手厚く助成してもらいたい
- 
- ・新たな補助金創設等で申請の機会を更に増やしてほしい
  - ・もう一段の補助金を検討してほしい
  - ・景気刺激策としての多岐にわたる補助金拡充をお願いしたい
- 
- ・もう少し簡素な手続書類で。
  - ・申請書類を簡素化してほしい
  - ・支給申請から支給までの迅速化。
  - ・期限を設定せずにコロナが世界的に終息するまで継続を
  - ・コロナの影響による業績悪化時期が、業種により異なることへの対応
  - ・対象時期を遡ってもらえるのは、大変嬉しい事ですが、4月の中旬以降のものが多く、実際に企業として、3月以前より感染防止に努めている。

## 【その他】

- ・経営悪化が進んで行く前に中小企業も再編が必要
- ・仕事量が来年以降も回復しなければ追加融資、補助金制度も考えて頂きたい
- ・コロナの影響による業績悪化時期が、業種により異なることへの対応
- ・公共施設の設備については、国の補助金の一部出た場合でも、地元企業を優先的に活用するようにして頂きたい。
- ・雇用を維持したいと考えている。その為の給与のセーフティネット（生活維持可能な額）の仕組みを作りたい。

- ・ 社保、労働保険料などの減免や減税。
  - ・ 県の法人税引き下げ案は素晴らしい。国も消費税を引き下げるべきだ
  - ・ 法人税や個人所得税の減税
  - ・ 法人税が減税されるとの事ですが、対象は大企業（資本金億以上）だそうです。弊社などの零細企業にも、何かしてもらいたい。
- 
- ・ 行政・教育など効果的な IT 環境の整備（利便性・安全性に加え、周辺新事業の成長につながるため）
  - ・ 新型コロナ対策による国内外との交流増加
  - ・ 米中貿易摩擦の行方次第です
  - ・ 医療崩壊に不安あり、医療機関に補助金を